

グリーン物流パートナーシップ会議などの取組みについて

平成17年5月18日

2月16日に、地球温暖化の防止に向けたCO₂等の温室効果ガスの排出削減についての国際約束等を定めた、「京都議定書」が発効しました。

このような状況において、今回初めて政府、経済団体、産業界が協力して、物流分野におけるCO₂排出削減に取り組むため、4月26日に「グリーン物流パートナーシップ会議」を開催しました。

また、4月19日から「エコレールマーク」の募集も始まりました。
これらに対するJR貨物の取組みは下記のとおりです。

1. グリーン物流パートナーシップ会議

(1) 会議の目的

荷主企業と物流事業者が連携、協働したCO₂排出削減のプロジェクト実現に向けて、具体的には「会員の事業造成、選定、支援及び評価」「CO₂排出量算定手法の策定、標準化、体系化」「PRやシンボルマークづくり」の取組みを行います。

(2) JR貨物の取組み

会議への参加、会員登録

モデル事業構想の提案

「事業調整・評価」「CO₂排出量算出」ワーキンググループへの参加

2. エコレールマーク

(1) エコレールマークとは

消費者が日常生活を営む上で、企業の商品・カタログ等消費者の目に触れやすい媒体への表示を行うことにより理解を促すことで、消費者・企業が一体となって鉄道貨物輸送による環境負荷低減の取組みを促進することを目的とするもので、鉄道貨物輸送を一定割合以上利用している企業・商品の認定マークです。

(2) エコレールマークの制度

本事業は、国土交通省が設置した「環境にやさしい鉄道貨物輸送の認知度向上に関する検討委員会」において導入が決定されたものです。

なお、本事業の事務局は、社団法人鉄道貨物協会が担当します。

(3) JR貨物は、国土交通省及び社団法人鉄道貨物協会と連携を図り、利用促進の取組みの推進を図ります。